

兵庫五国の「現場」から

施策の取り組み現場の視察や各種行事への出席のため、日々県内各地に足を運ぶ知事の動向をクローズアップします。

楽天グループ(株)と地域を盛り上げます

4月22日、楽天グループ(株)とスポーツによる地域活性化などに関する包括連携協定を締結するためノエビアスタジアム神戸を訪れ、締結式とキックインセレモニーに出席しました。



楽天グループ(株)副社長の武田和徳さんと。

協定に基づく取り組みの一環として、6月3日の試合に県内の高校生2,000人を無料招待※します。スポーツを軸に地域を活性化することで、未来を担う子どもたちが夢を持つ兵庫になるよう、互いのポテンシャルを最大限に生かしたいと思えます。



試合前に行われたキックインセレモニー。

※募集は既に終了しています

協定の主な内容

- **スポーツによる地域活性化に関すること**
県内高校生をヴィッセル神戸の試合観戦に招待、県内の子ども向けにサッカー教室を開催
- **地域創生に関すること**
楽天のふるさと納税ポータルサイトで、ひょうごフィールドパビリオン等での体験ツアーを返礼品として紹介
- **地域の安全・安心に関すること**
楽天の物流拠点と連携した災害時の救援物資の調達や輸送体制の強化

選手に
インタビュー

さかい ごとうく ヴィッセル神戸DF 酒井高徳さん

1991(平成3)年米国生まれ。2歳で新潟県へ移住。アルビレックス新潟、ドイツのVfBシュトゥットガルト、ハンブルガーSVを経て、2019(令和元)年からヴィッセル神戸でプレー。元日本代表。



©VISSELL KOBE

● 県外出身者から見た兵庫県の魅力

故郷の新潟県同様、自然豊かな場所が多いのが魅力です。住んでいる神戸も暮らしやすく、気に入っています。

● 地域での交流を通して

これまで神戸市内の小学校にボールを贈るなどしてきました。これらがきっかけとなり、サッカー選手を目指す子どもやチームを応援してくれる人が増えればうれしいです。

● 県民の皆さんへ

「サッカーで兵庫県を盛り上げたい」と毎試合全力でプレーしています。まだ観戦したことがない人はぜひ一度スタジアムに足を運び、サッカーの面白さを感じてください。



※サイズはL
サイン入りユニホームを
1人にプレゼント

応募方法は7面へ



詳細版は
こちら

丹波焼の里で陶芸文化を体感



5月3日、「ひょうごフィールドパビリオン」の一つで各地域の取り組みの核となる「プレミアム・プログラム」に認定されている「『日本六古窯』丹波焼の里を訪ねる」の視察に丹波篠山市今田地区を訪ねる。作品の鑑賞や陶芸体験を通じて丹波焼の伝統文化を学び、工房では作家から直接制作の苦労ややりがいなどを聞くことで、ものづくりの奥深さに触れました。



こつを教えてくださいながら電動ろくろで作陶。

約100年前に築かれた県指定有形民俗文化財「最古の登窯」では、まき入れを体験。炎と向き合う作業の過酷さと伝統文化の継承の重要性を再認識しました。

最後に、若手陶芸家たちと意見交換し、「伝統を大切にしつつ時代に合わせた新しい試みに挑戦したい」「年配の人だけでなく、若者にも丹波焼の良さを伝えたい」「女性ならではの視点で作品づくりができれば」といった熱い思いを聞きました。



若手陶芸家たちと活発な意見交換を行いました。

若者や女性など作り手の多様性や伝統を継承しながら新たなことにも挑む姿勢が、イノベーションにつながります。今後も皆さんのチャレンジを応援し、万博で世界に向けて発信していきます。



闇夜を照らす「最古の登窯」の炎。



丹波焼の未来を担う若手陶芸家たちと。

プレミアム・プログラム

「ひょうごフィールドパビリオン」 「日本六古窯」丹波焼の里を訪ねる

日本六古窯の一つである丹波焼は、平安時代末期から鎌倉時代初期に誕生。焼き色や模様が一品ずつ異なって表れる美しさが特長で、生活用器として親しまれてきました。国指定伝統的工芸品であり、日本遺産にも認定されています。プログラムでは窯元との交流、作品の鑑賞や陶芸体験のほか、兵庫陶芸美術館や丹波伝統工芸公園「立杭^{すえ}陶の郷」で、時代とともに進化する丹波焼の伝統技術の奥深さや手仕事の魅力を体感することができます。

